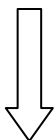


# フォローアップ推進部会のフロー

## フォローアップ推進部会を進めるにあたって

- ・推進部会の充実 施策をコスト面、機能面、効率面等について、高い技術的見地から判断、評価する。
- ・推進部会の定着化 定期的な開催により、情報の交換や様々なチェック機能を向上させる。
- ・円滑な体制の運営 課内で役割を明確化させ、意識の統一や施策の充実が図れるようにする。

担当者記入

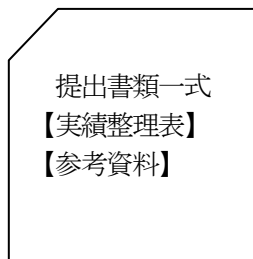


フォローアップ推進部会

- (各部署の長が運営)
- ・原則1回/月開催
  - ・課内職員で構成



各課担当責任者とりまとめ



提出



工事技術検査室主幹



事務局

結果をとりまとめ、幹事会への報告資料作成

### 実績整理表記入要領 [5分野 20項目]

- ・ 具体的施策一覧のどの項目に該当するかと、コスト削減の種別を記入。  
 施策の概要・施策の効果・ポイント

コスト削減額、削減率、環境面、効率面、性能面等に配慮したことを具体的に記入。出来るだけ、数値等が提示できるものは、数値記入のこと。また、②工事の時間短縮(便益計算)については、計算資料を別途添付すること。③ライフサイクルコストについては、様式-2(自動計算書)を利用すること。

新しい取り組み内容

新しい取り組み内容があれば、実施状況、イメージ図、写真、工法比較等について、第三者に理解できるように記入のこと。

### 検討の視点

- ・ 数値化や評価指標はできないか。
- ・ 他の工法は検討したのか。
- ・ 工期はどのくらい短縮できたか。
- ・ 関連工事との連携は図れたか。
- ・ 透明性、公平性、緊急性、合理性、効率性、実現性、広域性、社会性等での評価はどうか。
- ・ 工夫の余地はないか。
- ・ 参考の資料は適切か。
- ・ さらにコストの削減は図れないか。
- ・ 上位計画や関連施策との整合はどうか。
- ・ 施策の発展性はどうか。